

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

市町村と協働した独居要介護認知症高齢者の出現率等の実態に関する研究

研究分担者 川越雅弘 認知症介護研究・研修東京センター 研究員

研究要旨

【目的】市町村が有する各種データ（人口・世帯・認定）をもとに、要介護認知症高齢者、独居要介護認知症高齢者に関する各種指標（人口当たり出現率、要介護認知症高齢者に占める独居者の割合などの実態を明らかにすること。

【方法】首都圏 A 市の 2025 年 9 月末時点の、①性別・年齢階級別人口、②要支援・要介護認定者の世帯情報（住民基本台帳ベース）、③認定データを、A 市が付与した任意の共通番号をもとに連結した上で、独居要介護認知症高齢者の人口当たり出現率、要介護認知症高齢者に占める独居者の割合等の各種指標を、性別・年齢階級別に算出した。

【結果】データを分析した結果

- ① 独居要介護認知症高齢者の出現率は、「65 歳以上」5.1%（男性 2.5%、女性 7.1%）、「75 歳以上」7.7%（男性 3.6%、女性 10.7%）、「85 歳以上」16.7%（男性 7.1%、女性 22.3%）と、女性の方が約 3 倍高かった
- ② 独居要介護認知症高齢者の出現率を年齢階級別にみると、「65-74 歳」では男性の方が高いものの、75 歳から女性が男性を上回り、年齢が上がるほど男女間の差が拡大していた
- ③ 要介護高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合は、「65 歳以上」25.9%（男性 16.7%、女性 30.8%）、「75 歳以上」27.0%（男性 16.2%、女性 32.3%）、「85 歳以上」33.4%（男性 18.0%、女性 39.7%）で、女性の方が約 2 倍高かった
- ④ 要介護認知症高齢者に占める独居者の割合は、「65 歳以上」45.5%（男性 29.7%、女性 53.5%）、「75 歳以上」46.2%（男性 28.3%、女性 54.6%）、「85 歳以上」51.9%（男性 30.2%、女性 60.0%）で、女性の方が約 2 倍高かった

などがわかった。

【考察】独居要介護認知症高齢者の出現率ならびに要介護認知症高齢者に占める独居者割合を性別年齢階級別にみると、65-69 歳では男性の方が、85 歳以上では女性の方が約 2～3 倍高かったが、こうした傾向は、A 市の性別年齢階級別にみた高齢者の独居率（母集団）の傾向を反映している可能性が示唆された。

国が市町村に求めていること（地域の実情に即した認知症施策推進計画の策定）と、市町村の現状（認知症に関する実態が十分には把握できていない）のギャップを解消するためには、市町村が有する既存データ（性別年齢階級別人口、世帯、認定）をもとに、本報告書で示した各種指標（要介護認知症高齢者及び独居要介護認知症高齢者の出現率、要介護高齢者に占める要介護認知症高齢者及び独居要介護認知症高齢者の割合など）をまず確認することから始める必要がある。

A. 研究目的

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計¹⁾によると、85歳以上高齢者人口は、2025年の707万人から2040年には1,006万人に、世帯推計²⁾によると、世帯主85歳以上の独居世帯数は、2020年の147万世帯から2040年には289万世帯に増加すると見込まれている。認知症有病率が高い85歳以上人口の急増および85歳以上の独居世帯の増加を背景に、今後、独居認知症高齢者は増加していくと予測される。

こうしたなか、認知症施策の推進を担う市町村に対し、国は、地域の実情に即した認知症施策推進計画の策定を努力義務化した（「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（令和5年法律第65号）第13条）。

しかしながら、市町村の第9期介護保険事業計画をみる限り、①一般高齢者を主対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は多くの市町村で実施されているが、この調査では、要介護者の約7割を占める要介護認知症高齢者の実態は把握できない、②要介護認知症高齢者の将来推計を実施するためには、性別・年齢階級別にみた認知症の出現率を把握する必要があるが、多くの市町村でこれら実態は把握されていない、③要介護認知症高齢者の実態が把握できていない、把握方法がみえていないなか、さらに「独居」に焦点を当てるという視点を持っていない状況となっている。

国が市町村に求めること（地域の実情に即した認知症施策推進計画の策定）と、市町村の現状（実態が十分には把握できていない）のギャップを解消するためには、まずは現状把握の方法論を市町村に示す必要がある。

そこで、本研究では、首都圏A市が有する各種データ（人口、世帯、認定情報）をもとに、独居要介護認知症高齢者の出現率等の実態を把握することとした。

B. 研究方法

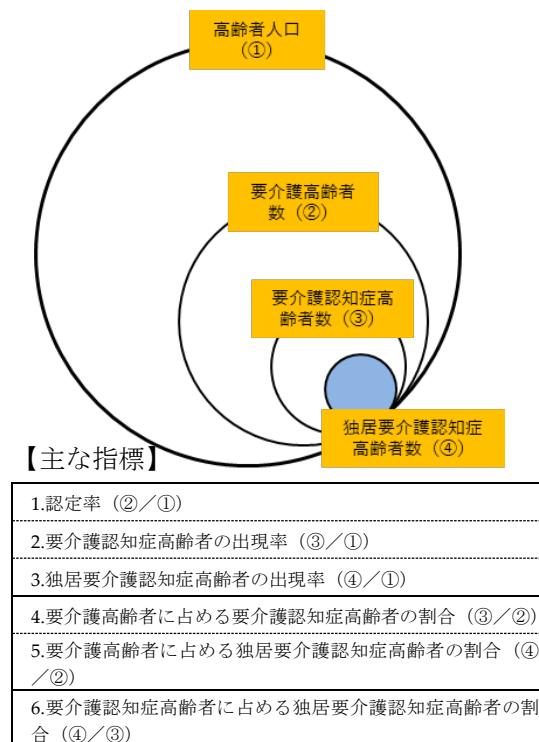
2025年9月末時点のA市の各種データ（人口・世帯情報・認定データ）をA市が付与した任意の共通番号をもとに連結した上で、各種指標（要介護認知症高齢者ならびに独居要介護認知症高齢者の出現率等）を分析した（各種指標のイメージについては図1参照）。このうち、指標2～6について、分析結果を以下に示す。

なお、認定データに基づく分析であるため、本稿では、「認知症高齢者の日常生活自立度（以下、認知症自立度）がⅡ以上」を認知症とした。

（倫理面への配慮）

本研究は、A市との間で、①A市の個人情報保護条例に照らして個人が特定される情報を含まないデータを提供すること、②世帯情報と認定データを紐づける番号はA市にて任意に変換した後に提供すること、③対応表はA市のみが保管することなどを明記した覚書を締結した上で実施した。

図1. 高齢者に関する各種指標のイメージ



C. 研究結果

1) 人口及び認定者数

2025 年 9 月末時点の 65 歳以上人口は 95,803 人（男性 42,604 人、女性 53,199 人）、65 歳以上認定者数は 18,696 人（男性 6,431 人、女性 12,265 人）、65 歳以上認定率は 19.5%であった（表 1・2）。

表 1. 性別年齢階級別にみた人口

(単位：人)	総数	男性	女性
65 歳以上	95,803	42,604	53,199
-65-69 歳	17,882	8,888	8,994
-70-74 歳	19,953	9,368	10,585
-75-79 歳	23,671	10,627	13,044
-80-84 歳	18,032	7,691	10,341
-85-89 歳	10,768	4,366	6,402
-90 歳以上	5,497	1,664	3,833

表 2. 性別年齢階級別にみた認定者数(人)

(単位：人)	総数	男性	女性
65 歳以上	18,696	6,431	12,265
-65-69 歳	643	333	310
-70-74 歳	1,491	701	790
-75-79 歳	3,158	1,240	1,918
-80-84 歳	5,280	1,780	3,500
-85-89 歳	4,969	1,605	3,364
-90 歳以上	3,155	772	2,383

2) 要介護認知症高齢者数／独居要介護認知症高齢者数

2025 年 9 月末時点の要介護認知症高齢者は 10,671 人（男性 3,606 人、女性 7,065 人）で、うち独居の要介護認知症高齢者は 4,850 人（男性 1,072 人、女性 3,778 人）であった（表 3・4）。

表 3. 性別年齢階級別にみた要介護認知症高齢者数

(単位：人)	総数	男性	女性
65 歳以上	10,671	3,606	7,065
-65-69 歳	291	163	128
-70-74 歳	680	340	340
-75-79 歳	1,627	670	957
-80-84 歳	2,849	1,013	1,836
-85-89 歳	2,958	929	2,029
-90 歳以上	2,266	491	1,775

表 4. 性別年齢階級別にみた独居要介護認知症高齢者数

(単位：人)	総数	男性	女性
65 歳以上	4,850	1,072	3,778
-40-64 歳	55	37	18
-65-69 歳	126	73	53
-70-74 歳	246	122	124
-75-79 歳	582	188	394
-80-84 歳	1,184	260	924
-85-89 歳	1,444	260	1,184
-90 歳以上	1,268	169	1,099

3) 各種指標の算出結果

① 要介護認知症高齢者の出現率

2025 年 9 月末時点の要介護認知症高齢者の出現率（対人口）は、「65 歳以上」11.1%（男性 8.5%、女性 13.3%）、「75 歳以上」16.7%（男性 12.7%、女性 19.6%）、「85 歳以上」32.1%（男性 23.5%、女性 37.2%）であった（図 2、表 5）。

図 2. 性別年齢階級別にみた要介護認知症高齢者の出現率（対人口）

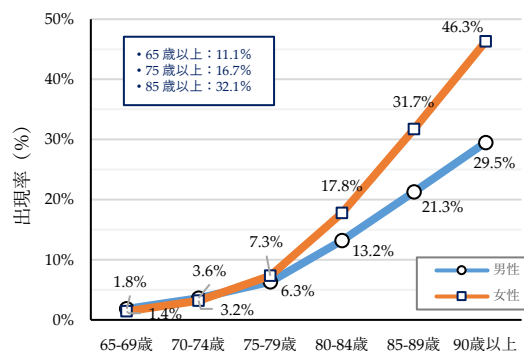


表 5. 性別年齢階級別にみた要介護認知症高齢者の出現率（対人口）

	総数	男性	女性
65 歳以上	11.1%	8.5%	13.3%
-65-69 歳	1.6%	1.8%	1.4%
-70-74 歳	3.4%	3.6%	3.2%
-75-79 歳	6.9%	6.3%	7.3%
-80-84 歳	15.8%	13.2%	17.8%
-85-89 歳	27.5%	21.3%	31.7%
-90 歳以上	41.2%	29.5%	46.3%
再掲)75 歳以上	16.7%	12.7%	19.6%
再掲)85 歳以上	32.1%	23.5%	37.2%

② 独居要介護認知症高齢者の出現率

2025 年 9 月末時点の独居要介護認知症高齢者の出現率(対人口)は、「65 歳以上」5.1% (男性 2.5%、女性 7.1%)、「75 歳以上」7.7% (男性 3.6%、女性 10.7%)、「85 歳以上」16.7% (男性 7.1%、女性 22.3%) であった (図 3、表 6)。

図 3. 性別年齢階級別にみた独居要介護認知症高齢者の出現率 (対人口)

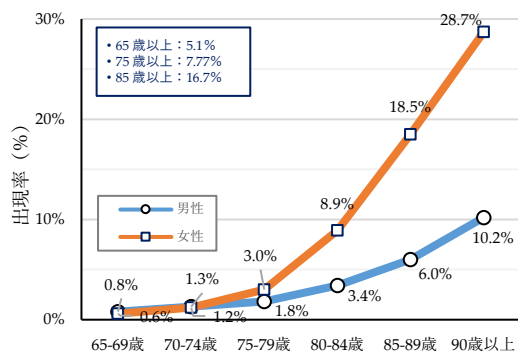


表 6. 性別年齢階級別にみた独居要介護認知症高齢者の出現率 (対人口)

	総数	男性	女性
65 歳以上	5.1%	2.5%	7.1%
-65-69 歳	0.7%	0.8%	0.6%
-70-74 歳	1.2%	1.3%	1.2%
-75-79 歳	2.5%	1.8%	3.0%
-80-84 歳	6.6%	3.4%	8.9%
-85-89 歳	13.4%	6.0%	18.5%
-90 歳以上	23.1%	10.2%	28.7%
再掲)75 歳以上	7.7%	3.6%	10.7%
再掲)85 歳以上	16.7%	7.1%	22.3%

③ 要介護高齢者に占める要介護認知症高齢者の割合

2025 年 9 月末時点の要介護高齢者に占める要介護認知症高齢者の割合は、「65 歳以上」57.1% (男性 56.1%、女性 57.6%)、「75 歳以上」58.6% (男性 57.5%、女性 59.1%)、「85 歳以上」64.3% (男性 59.7%、女性 66.2%) であった (図 4、表 7)。

図 4. 性別年齢階級別にみた要介護高齢者に占める要介護認知症高齢者の割合

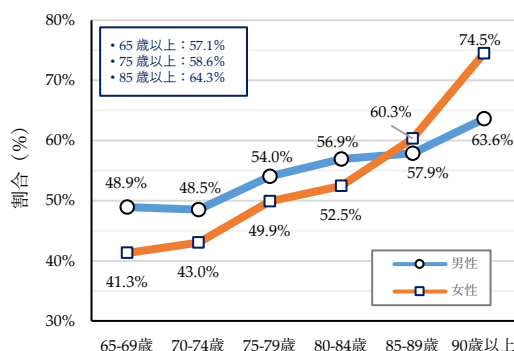


表 7. 性別年齢階級別にみた要介護高齢者に占める要介護認知症高齢者の割合

	総数	男性	女性
65 歳以上	57.1%	56.1%	57.6%
-65-69 歳	45.3%	48.9%	41.3%
-70-74 歳	45.6%	48.5%	43.0%
-75-79 歳	51.5%	54.0%	49.9%
-80-84 歳	54.0%	56.9%	52.5%
-85-89 歳	59.5%	57.9%	60.3%
-90 歳以上	71.8%	63.6%	74.5%
再掲)75 歳以上	58.6%	57.5%	59.1%
再掲)85 歳以上	64.3%	59.7%	66.2%

④ 要介護高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合

2025 年 9 月末時点の要介護高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合は、「65 歳以上」25.9% (男性 16.7%、女性 30.8%)、「75 歳以上」27.0% (男性 16.2%、女性 32.3%)、「85 歳以上」33.4% (男性 18.0%、女性 39.7%) であった (図 5、表 8)。

図 5. 性別年齢階級別にみた要介護高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合

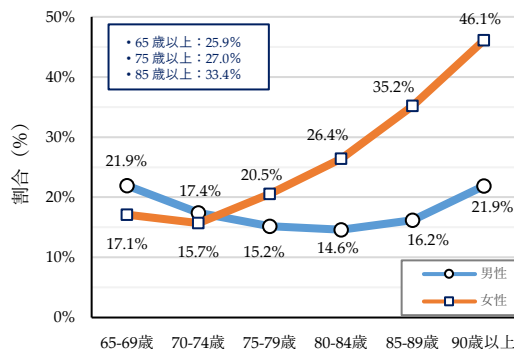


表 8. 性別年齢階級別にみた要介護高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合

	総数	男性	女性
65 歳以上	25.9%	16.7%	30.8%
-65-69 歳	19.6%	21.9%	17.1%
-70-74 歳	16.5%	17.4%	15.7%
-75-79 歳	18.4%	15.2%	20.5%
-80-84 歳	22.4%	14.6%	26.4%
-85-89 歳	29.1%	16.2%	35.2%
-90 歳以上	40.2%	21.9%	46.1%
再掲)75 歳以上	27.0%	16.2%	32.3%
再掲)85 歳以上	33.4%	18.0%	39.7%

⑤ 要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合

2025 年 9 月末時点の要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合は、「65 歳以上」45.5%（男性 29.7%、女性 53.5%）、「75 歳以上」46.2%（男性 28.3%、女性 54.6%）、「85 歳以上」51.9%（男性 30.2%、女性 60.0%）であった（図 6、表 9）。

図 6. 性別年齢階級別にみた要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合

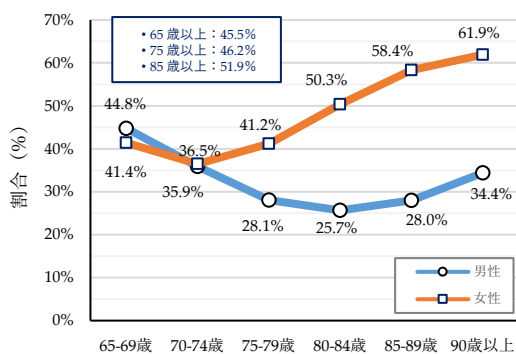


表 9. 性別年齢階級別にみた要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合

(単位: 人)	総数	男性	女性
65 歳以上	45.5%	29.7%	53.5%
-65-69 歳	43.3%	44.8%	41.4%
-70-74 歳	36.2%	35.9%	36.5%
-75-79 歳	35.8%	28.1%	41.2%
-80-84 歳	41.6%	25.7%	50.3%
-85-89 歳	48.8%	28.0%	58.4%
-90 歳以上	56.0%	34.4%	61.9%
再掲)75 歳以上	46.2%	28.3%	54.6%
再掲)85 歳以上	51.9%	30.2%	60.0%

D. 考察

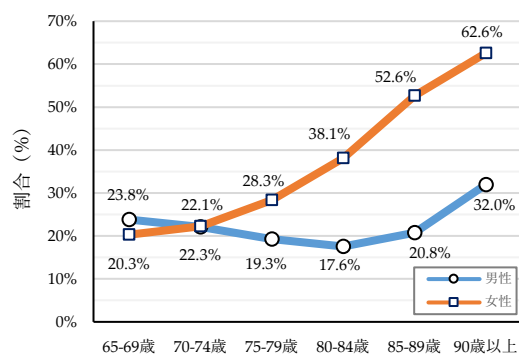
図 7 に、A 市における性別年齢階級別にみた「世帯員数が 1 人 (=独居)」の高齢者の割合を示す³⁾。

ここで、「65-69 歳」の独居率を性別にみると、「男性」23.8%、「女性」20.3%と男性の方が高くなっているが、70 歳を超えると女性の独居率が男性を上回り、年齢が上がるほどその差が大きくなっている。なお、国立社会保障・人口問題研究所の世帯調査²⁾でも同様の結果が示されている。こうした母集団の特徴を反映する形で、

- ① 65-69 歳では、男性の独居要介護認知症高齢者の出現率ならびに要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合が女性を上回っている
- ② 85 歳以降、女性の独居要介護認知症高齢者の出現率ならびに要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合が急増している

といった可能性が示唆された。

図 7. 性別年齢階級別にみた「世帯員数が 1 人」の高齢者の割合 (A 市)



E. 結論

独居要介護認知症高齢者の出現率、要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合などの実態を明らかにすることを目的に、A市の人口・世帯・認定データの分析を実施した。

その結果、①独居要介護認知症高齢者の出現率は、「65歳以上」5.1%、「75歳以上」7.7%、「85歳以上」16.7%であること、②「65-74歳」の出現率は男性の方が高いものの、年齢が上がるほど女性の割合が高くなり、85歳以上では、女性の方が3倍高いこと、③要介護高齢者に占める独居要介護認知症高齢者割合は、「65歳以上」25.9%、「75歳以上」27.0%、「85歳以上」33.4%であること、④要介護認知症高齢者に占める独居要介護認知症高齢者の割合は、「65歳以上」45.5%、「75歳以上」46.2%、「85歳以上」51.9%であること、⑤独居要介護認知症高齢者の出現率や要支援・要介護認定者に占める独居要介護認知症高齢者割合の傾向は、A市の性別年齢階級別にみた高齢者の独居率の影響を受けている可能性があることなどがわかった。

今後、他の市町村のデータも入手し、これから傾向の共通性と相違点について分析を深めていく予定である。

(参考文献)

- 1) 国立社会保障・人口問題研究所：日本の将来推計人口（令和5年推計）（2023）。
- 2) 国立社会保障・人口問題研究所：日本の世帯数の将来推計（全国推計）令和6（2024）年推計（2024）。
- 3) 川越市：令和8年2月10日第6回川越市介護保険事業計画等審議会配布資料
<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/saisei/seisaku/1008588/1008763/1008830/1008848/1014086.html>

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし